

琵琶湖河川事務所は、瀬田川において繁殖の拡大が著しい外来水生植物の駆除対策を、NPO法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA) 等と協働で実施しました。

駆除活動に先立ち、滋賀県立大学 准教授 野間 直彦氏から外来水生植物の実態や適切な駆除方法について講義を受けました。

また、今回の取り組みは、職員の技術力向上に向けた取り組み「琵琶湖河川セミナー」ならびに河川部の河川環境技術研修の一環として実施し、河川協力団体、河川愛護モニターも参加しました。

概要

- 琵琶湖河川セミナー「瀬田川外来水生植物 (オバナミズキンバイ) 対策に関する取り組み」
- 日 時：平成28年9月9日 (金)

【講習会「琵琶湖に侵入した侵略的外来水草」】
9：30～10：15 (アクア琵琶映像ホール)



- 参加者：職員33名 (河川部、福知山、大和川、紀南、豊岡、姫路、琵琶湖)
河川協力団体6名、河川愛護モニター2名、ウォーターステーション琵琶の会1名

○講演内容

- ・侵略的外来水草は繁殖力・再生力が強いので大繁殖し、在来種を駆逐し、航行障害・水流阻害、局所的な水質悪化を招いている現状。
- ・ミズヒマワリ、ナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイといった琵琶湖で拡大する水草の特徴や駆除する際の留意点。

【駆除活動】

11：00～16：30 (瀬田川)

- 参加者：NPO法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA) 約400名、職員29名、河川協力団体6名、河川愛護モニター2名、ウォーターステーション琵琶の会1名



安全対策、水難事故対策についての説明



除去活動のようす (大津市稲津地先)



駆除した外来水生植物の一部 (約20トン)

参加者の感想

- ・外来水生植物が葉っぱ1枚から蘇生するという繁殖力に驚きました。繁殖初期に駆除することが大事だと思いました。
- ・外来植物は水中に隠れている根茎部が多く、思った以上に重量があったので除去が大変でした。

琵琶湖河川事務所は、瀬田川の環境改善ならびに外来水生植物対策の啓発活動に取り組んでいます。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 調査課
077-546-0867

